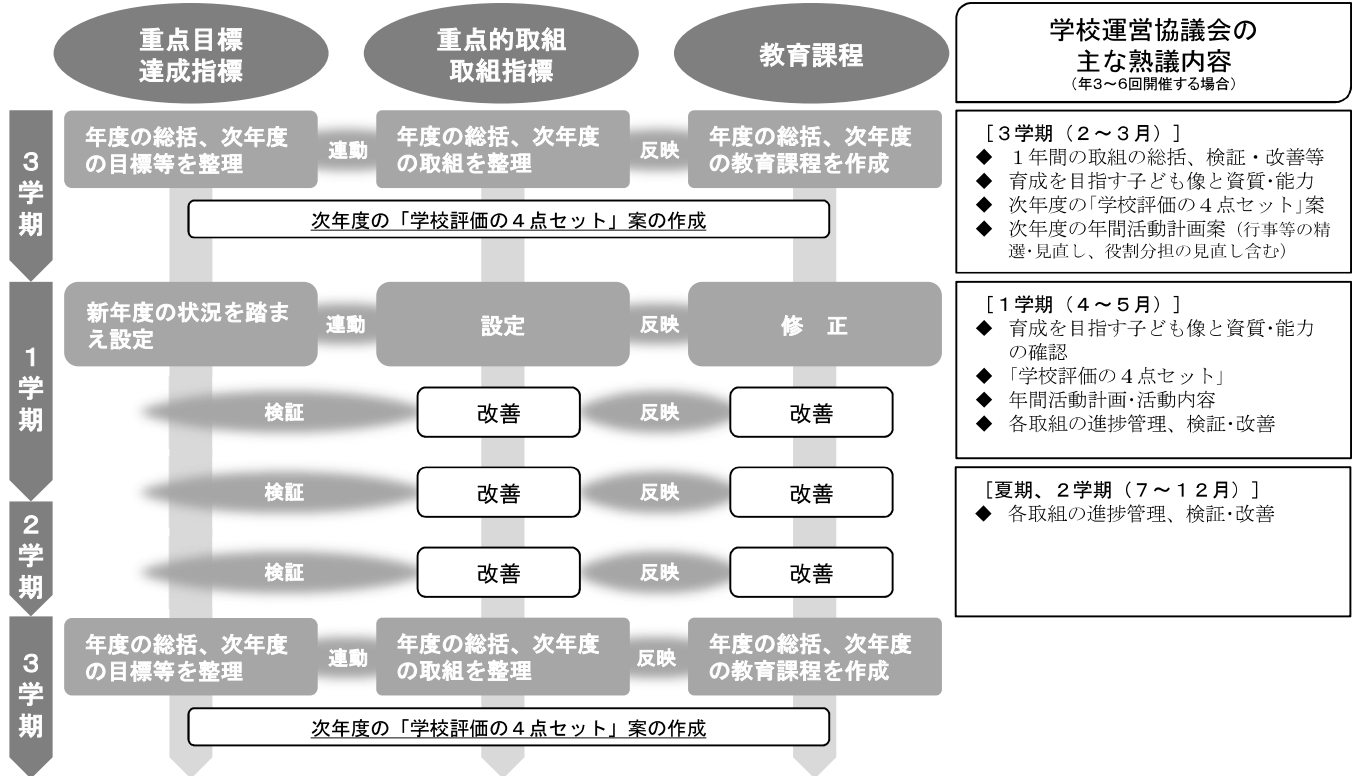


検証・改善プロセス

[観点Ⅱ S評価基準]

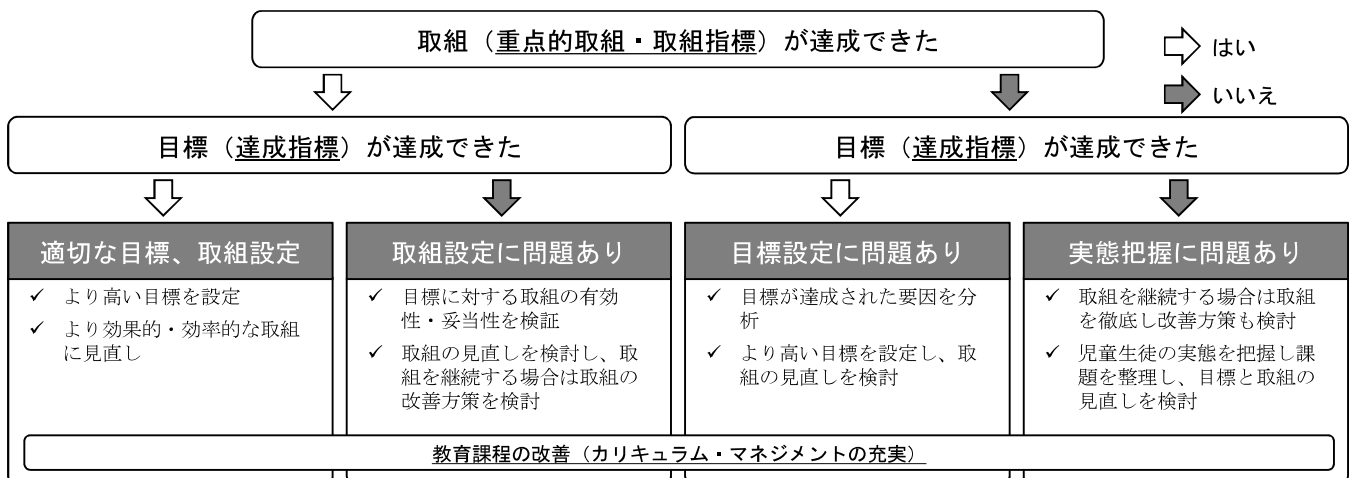
客観的なデータを用いて取組指標に基づく取組状況の確認や達成指標に基づく達成状況の確認、児童生徒の実態把握を効率的に行った上で、重点的取組の有効性や取組指標の妥当性の検証と改善方策の検討が、「検証・改善プロセス」に沿って効果的に行われている。

検証・改善サイクル



POINT 家庭・地域と協働して年度を跨ぐ持続的・発展的な教育活動の質の向上を図るためには、校内の検証・改善サイクルと学校運営協議会の開催時期・熟議内容を連動させ、1年間の検証・改善の成果・課題を基に、次年度の教育課程編成に取組を反映させつつ（カリキュラム・マネジメント）、次年度の「学校評価の4点セット」案を年度末までに策定することが重要

検証・改善フロー



POINT 重点的取組・取組指標をより有効かつ妥当な取組へと改善を図るためには、学習指導要領解説、全国学力・学習状況調査の結果・解説等の各種調査、全国的な先進事例、校内研究等のエビデンスや、生徒・保護者等を対象としたアンケート調査、テスト結果等の短期の検証・改善を行う際の視点を整理しておくことが、視点を揃えて効果的・効率的に検証を行う上からも重要